第49回伊勢湾オープンヨットレース大会

～ クルーザーの部帆走指示書 ～



クルーザーの部帆走指示書

1．適用規則

セーリング競技規則に定義された規則を適用する。ただし、これらの規則等のうち、本帆走指示書によって変更されたものを除く。

2．責任の所在

① 艇と乗組員の安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇が十分に艤装され、かつ必要な耐航性を保ち、荒天時にも適応出来るクルーを乗り組ませなければならない。

② 乗組員は、自己の責任において自身の安全を確保し、落水等の無いように努めなければならいない。

③ 何れの艇に乗るか、またレースに参加するか否かは全て各艇の乗組員の責任のみで決定される。

④ レース艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かは全て各艇の責任のみで決定される。

⑤ 本大会のレース委員会は、参加艇や乗組員の事故（死亡、傷害、沈没、破損等）及び第三者にあたえた損害に対する如何なる責任も負わない。

⑥ 各艇は緊急地震速報等の災害に関する情報収集を積極的に行うものとし、その情報に基づく避難についての責任は艇長にある。

3．参加資格

① 参加艇は小型船舶検査機構の安全検査に合格していること。

② 乗務員の内 1 名以上が小型船舶操縦免許証を持っていること。

③ 乗務員が 2 名以上であること。

④ ライフラインがハルを全周していること。

⑤ 自己復元性があること。

⑥ 連絡用の携帯電話を所持していること。

4．出艇申告

出艇申告及び帰着申告は実施しない。

※出艇及び帰着は参加者の責任において実施し、主催者及びレース委員会は人員及び物件に対するすべての損害の責任は負わない。

5．レース日程

10月12日（日）

レーススタート	10：15（予定）
タイムリミット	14：30

※　11：30以降のスタートは行わない。

6．競技者への通告

競技者への通告は、公式掲示板に掲示される。

公式掲示板は津ヨットハーバーホームページ上に設置する。

公式掲示板
URL http://www.tsu-yachtharbor.jp/event/race/index.html

7．コース及びマーク

①　津ヨットハーバー～松阪港近辺を往復するショートディスタンスレースとする。

②　各マークの回航方法はコース図による（西風時、東風時）。

③　予告信号以前に本部艇に「艇の帆走すべきコース」を掲示する。

- ピンク旗が掲示されたとき　　西風時のコース
- グリーン旗が掲示されたとき　東風時のコース

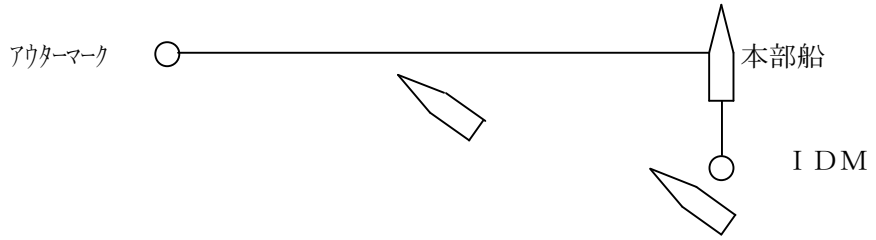
④　本部艇はオープンレース旗（緑）を掲げたクルーザー、マークは黄色。

8．スタート及びフィニッシュライン

① スタートライン

オレンジ旗を揚げた本部船のマストとアウターマークを結ぶ線をスタートラインとする。

本部船のスターンから３～５ｍにインナー・ディスタンス・マーク（IDM）を流す。各艇はIDMとアウターマークの間を通過してスタートすること。



② フィニッシュライン

ブルー旗を揚げた本部船のマストとマークを結ぶ線をフィニッシュラインとし、必ず本部船を右に見てフィニッシュする。

9．スタート方法及びスタートに関する信号

５分前（予告信号）	クラス旗展開　音響信号１声
	＊クラス旗　オープン旗（赤）
４分前（準備信号）	Ｐ旗展開　音響信号１声
１分前	Ｐ旗降下　音響信号１声
スタート	クラス旗降下　音響信号長音１声
	＊スタート信号後10分以内にスタートラインを切れない艇は失格とする。（DNS）
リコール艇あり	Ｘ旗展開　音響信号１声
	＊スタート後４分間あるいはリコール艇が全艇復帰するまでの間展開する。（リコール艇はX旗展開中に各艇の責任において復帰するものとする。）
ゼネラルリコール	第１代表旗展開　音響信号２声
	第１代表旗降下　＊予告信号の１分前に降下　音響信号１声
延期	回答（AP）旗展開　音響信号２声
	回答（AP）旗降下　＊予告信号の１分前に降下　音響信号１声

10. コース短縮

マークとＳ旗を展開した本部船をフィニッシュラインとし、本部船を右に見てフィニッシュすること。

11. タイムリミット

スタート時間に関わらず、タイムリミットは14：30とする。それ以前にフィニッシュ出来なかった艇はDNFとする。

12. エンジンの使用

スタート準備信号（４分前）以後はエンジンを使用してはならない。

13. ゼッケン番号

ゼッケン番号は艇の右舷バウに貼り付けること。

14. レース艇の義務

① スタートしない艇は、レース本部へ速やかに連絡しなければならない。

② 途中棄権（リタイヤ）した艇は速やかにレース本部へ連絡しなければならない。

＊レース本部　TEL 059－226－0525（津ヨットハーバー）

＊連絡は必ず艇長が行い、第３者に託してはならない。

15. ライフジャケット

① 全員ライフジャケットを着用すること。

② 着用していない場合は失格（DSQ）とする。

16. 抗　議

① 抗議はRRS61に従わなければならない。

② 赤色旗を掲揚してフィニッシュし、かつ抗議を提出する艇はフィニッシュ後、その旨を本部船に速やかに報告しなければならない。

③ 抗議のある艇は、レース終了後１時間以内に抗議書をレース本部に提出しなければならない。

17. 安　全

参加艇は本レースの目的を尊重し、安全については十分に配慮すること。インシデントが発生しそうな場合は必ず声を掛けること。また、たとえ航路権を持つ艇であっても衝突を回避すること。

18. ペナルティーの履行

① レース中に“艇が出会った場合”の規則に違反した場合は720度（２タック、２ジャイブ）のペナルティーの履行を行うこと。

② マークに接触した場合は360度（１タック、１ジャイブ）のペナルティーの履行を行うこと。

③ 準備信号後スタートまでの間に起こったインシデント、マークタッチはスタートまでに他艇の邪魔にならない場所でペナルティの履行を行う事ができる。

＊ペナルティーの履行は他艇の邪魔にならない場所で速やかに行うこと。

19. 順　位

① レース委員会が定めた各艇のレーティングにより修正タイムを競う。

② 別途定める「IOSR（Isewan Open Special Rating)」計算式で修正時間を算出し、その小なるものを上位とし順位を決定する。

③ 修正時間が同じ場合には、IOSRの小なるものを上位とする。

20. レース本部の所在

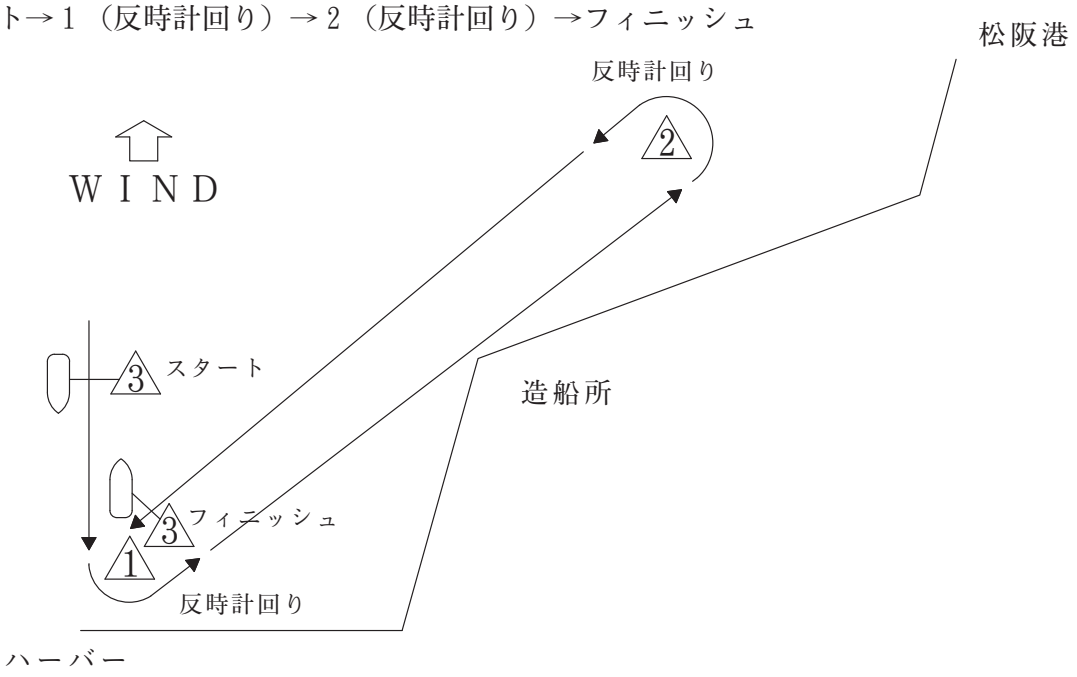
津ヨットハーバー事務所へレース本部を設置する。

21. レース艇からのゴミの投棄を禁ずる。

コース図

西風時のコース（ピンク旗掲揚）

スタート→1（反時計回り）→2（反時計回り）→フィニッシュ

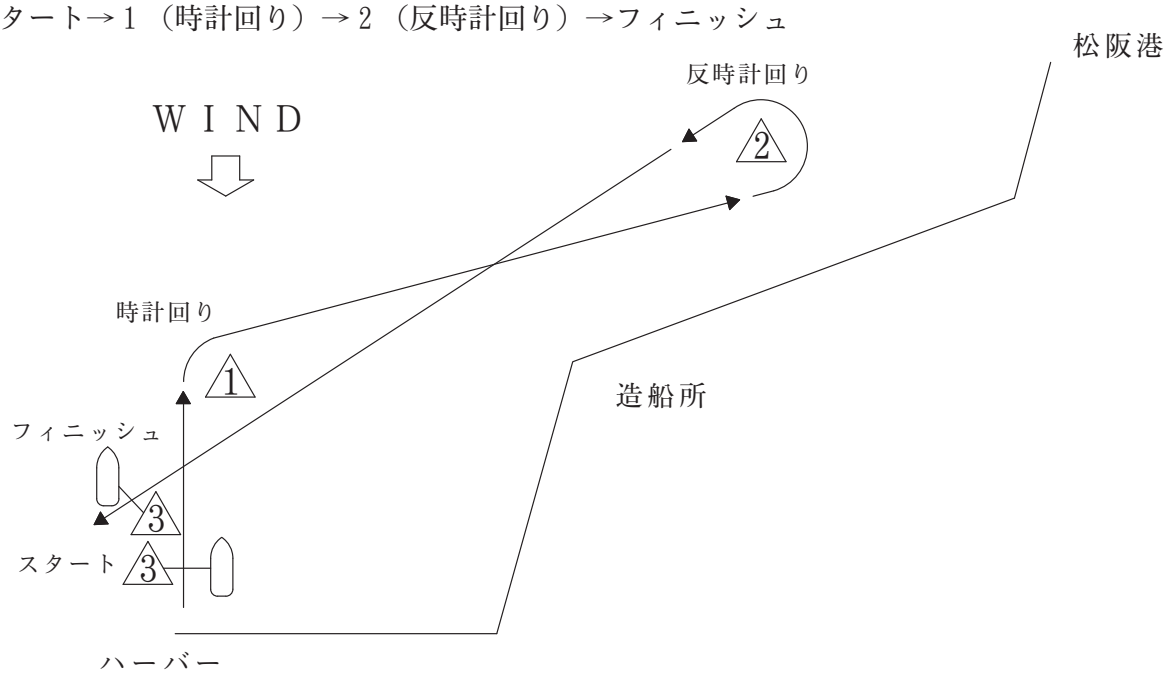


＊ ＮＯ１ウェザーマークは、スタートラインより0.5～1.5マイル先へ設置予定

＊ ＮＯ２マークはJMU（造船所）カド～松阪港赤ブイへ引いたライン上へ設置予定

東風時のコース（グリーン旗掲揚）

スタート→1（時計回り）→2（反時計回り）→フィニッシュ



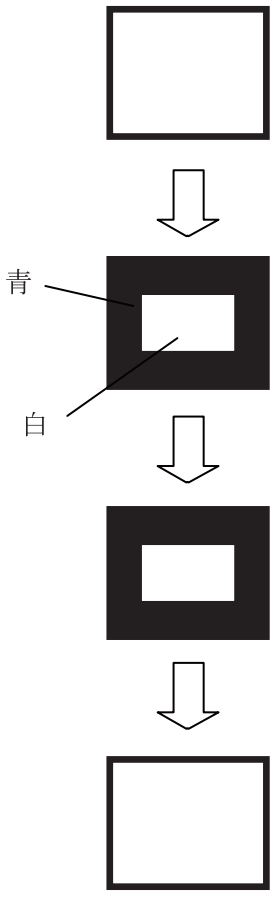
＊ ＮＯ１ウェザーマークは、スタートラインより0.5～1.5マイル先へ設置予定

＊ ＮＯ２マークはJMU（造船所）カド～松阪港赤ブイへ引いたライン上へ設置予定

ヨットレース入門

1．フラッグ

①　スタート時に使用するフラッグ



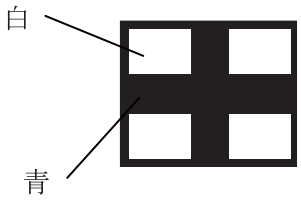
５分前　クラス旗　展開
オープン旗（赤）

４分前　Ｐ旗展開

１分前　Ｐ旗降下

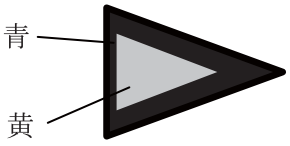
スタート　クラス旗降下

②　スタート時・リコール艇あり



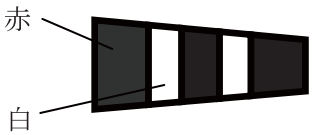
Ｘ旗展開

③　スタート時・ゼネラルリコール



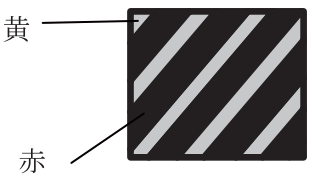
第１代表旗展開

④　スタート延期



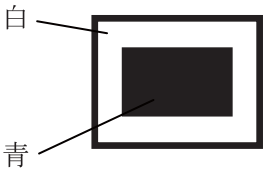
回答旗（ＡＰ旗）
展開

⑤　ライフジャケット着用



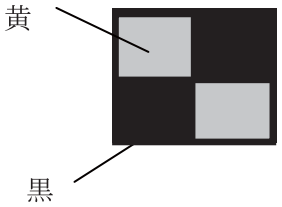
Ｙ旗展開

⑥　コース短縮



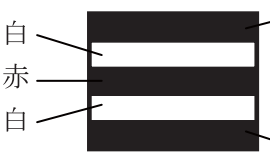
Ｓ旗展開

⑦　声の届く範囲に集まれ



Ｌ旗展開

⑧　次のマーク位置変更



Ｃ旗展開

2．レーシングルール（JSAF会員手帳より抜粋）

①　基本原則

セーリング・スポーツの競技者は、スポーツマンシップにのっとり規則を守り、これに違反した場合は、速やかにペナルティーを履行するか、またはリタイアする事を原則とする。

②　10個の守るべき競技規則（ヨット競技10戒）

1）ポート艇はスタボード艇を避ける

2）風上艇は風下艇を避ける

3）後ろの艇は前にいる艇を避ける

4）タックやジャイブする艇は他艇を避ける

5）自分が有利でも衝突を避ける

6）航路を変更するときは、他の艇に避ける時間を与えよ

7）マークルームの内側は、マーク回航のルームをもらう権利がある

8）後進艇やレース中でない艇は、レース中の艇を避ける

9）規則に違反したらペナルティーを履行する

10）プロテスト・ルームで長時間過ごすより、進路をゆずる方がずっとよい

3．安全とマナー

レースの参加、またレースの中止の決定は、各参加艇が自らの責任で決定するものです。

AP旗やN旗を使ってのレース中止は運営側での判断ですが、初心者の場合、運営側ではレース続行に問題ないと思っている風域でも既に自分の限界を超えてしまうことも考えられます。

天候の予測を常に行い、早め早めにレースを中止してリタイアする決断をすることも大切です。

リタイアして港に戻る時は、運営艇や傍にいる艇にリタイアすることを注げて下さい。

最後に運営スタッフはボランティアで行っています。

レース海面についたら　『お願いします!!』

レースを終了したら　　『有難うございました!!』　と声をかけましょう!!

伊勢湾オープンヨットレース歴代優勝者・優勝艇

第１回	1977年	ジョナサン	（6.2ＪＯＧ）
第２回	1978年	バッカス	（バーバリアン２４）
第３回	1979年	富羊	（ニコルソン３０）
第４回	1980年	ビッグヒーロー	（ホランド２６）
第５回	1981年	ビッグヒーロー	（ホランド２６）
第６回	1982年	ピーターパン	（オセアン２２）
第７回	1983年	シュビシュバ	（タカイ３０）
第８回	1984年	トウカイ	（Ｊ－２４）
第９回	1985年	スターダスト	（Ｊ－２４）
第10回	1986年	（クラスＡ）ナージャ	（Ｊ－２４）
		（クラスＢ）刀	（レプトン２１）
第11回	1987年	（クラスＡ）スターダスト	（Ｊ－２４）
		（クラスＢ）アスター	（ヤマハ３０ＳＴ）
第12回	1988年	（レースクラス）スターダスト	（Ｊ－２４）
		（クルージングクラス）アスター	（ヤマハ３０ＳＴ）
第13回	1989年	（レースクラス）スターダスト	（Ｊ－２４）
		（クルージングクラス）ウーピー	（タカイ２７）
第14回	1990年	（Ａクラス）スターダスト	（Ｊ－２４）
		（Ｂクラス）キャンディ	（ヤマハ２６Ｓ）
第15回	1991年	（Ａクラス）コスモス	（ヤマハ３１Ｓ）
		（Ｂクラス）ツインカム	（カン２３）
第16回	1992年	（Ａクラス）エスプリ	（ＩＭＳ９５０）
		（Ｂクラス）リラクシン	（ＩＭＳ９５０）
第17回	1993年	（Ａクラス）エスプリ	（ＩＭＳ９５０）
		（Ｂクラス）スターダスト	（Ｊ－２４）
第18回	1994年	（Ａクラス）スターダスト	（Ｊ－２４）
		（Ｂクラス）サザンクロス	（ヤマハ２６Ｓ）
第19回	1995年	（Ａクラス）シュビシュバ	（ＩＭＳ１０３０）
		（Ｂクラス）アイアム・ツインカム	（カン２３）
第20回	1996年	（Ａクラス）シュビシュバ	（ＩＭＳ１０３０）
		（Ｂクラス）アスター	（ヤマハ２３）
第21回	1997年	（Ａクラス）モナリサ	（Ｊ－２４）
		（Ｂクラス）ブルーマーリン	（ヤマハ２３Ⅱ）
第22回	1998年	（Ａクラス）モナリサ	（Ｊ－２４）
		（Ｂクラス）ブルーマーリン	（ヤマハ２３Ⅱ）
第23回	1999年	（Ａクラス）シュビシュバ	（ＩＭＳ１０３０）
		（Ｂクラス）ブルーマーリン	（ヤマハ２３Ⅱ）
第24回	2000年	（Ａクラス）シュビシュバ	（ＩＭＳ１０３０）
		（Ｂクラス）ブルーマーリン	（ヤマハ２３Ⅱ）
第25回	2001年	（Ａクラス）スターダスト	（Ｊ－２４）
		（Ｂクラス）ブルーマーリン	（ヤマハ２３Ⅱ）

第26回　2002年　（Ａクラス）スターダスト　（Ｊ－２４）
（Ｂクラス）アンクル・トム　（リュンドメ５５０）

第27回　2003年　（Ａクラス）ミススターボード　（ヤマハ３１Ｓ）
（Ｂクラス）アンクル・トム　（リュンドメ５５０）

第28回　2004年　（Ａクラス）モラモラⅢ　（パイオニア９）
（Ｂクラス）スターダスト　（Ｊ－２４）

第29回　2005年　（Ａクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）スターダスト　（Ｊ－２４）

第30回　2006年　（Ａクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）スターダスト　（Ｊ－２４）

第31回　2007年　（Ａクラス）ジョナサン　（ヤマハ３０Ｓ）
（Ｂクラス）フェアリーⅢ　（ジョイラック２６）

第32回　2008年　（Ａクラス）ＬＥＩＡ　（ヤマハ３４Ｓ）
（Ｂクラス）Ｚｏｒｒｏ　（Ｊ－２４）

第33回　2009年　（Ａクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）モナリサ　（Ｊ－２４）

第34回　2010年　（Ａクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）スターダスト　（Ｊ－２４）

第35回　2011年　（Ａクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）モナリサ　（Ｊ－２４）

第36回　2012年　（Ａクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）海星　（Ｊ－２４）

第37回　2013年　（Ａクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）Ｚｏｒｒｏ　（Ｊ－２４）

第38回　2014年　（Ａクラス）ベントファミリア　（グランドソレイユ３６）
（Ｂクラス）モナリサ　（Ｊ－２４）

第39回　2015年　（Ａクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（総合優勝・Bクラス）モナリサ　（Ｊ－２４）

第40回　2016年　（総合優勝・Aクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）Ｚｏｒｒｏ　（Ｊ－２４）

第41回　2017年　（総合優勝・Aクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）ＬＥＩＡ　（ヤマハ２６ⅡＳ）

第42回　2018年　（総合優勝・Aクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）Ｚｏｒｒｏ　（Ｊ－２４）

第43回　2019年　（Ａクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（総合優勝・Bクラス）Ｚｏｒｒｏ　（Ｊ－２４）

第44回　2020年　（総合優勝・Aクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）Ｚｏｒｒｏ　（Ｊ－２４）

第45回　2022年　（総合優勝・Aクラス）Twinkle Star　（SYDNEY32OD）
（Ｂクラス）モナリサ　（Ｊ－２４）

第46回　2023年　ノーレース

第47回　2024年　（総合優勝・Aクラス）スターダスト29　（Ｊ－２９）
（Ｂクラス）Ｚｏｒｒｏ　（Ｊ－２４）

第48回　2025年　ノーレース